

2023年9月1日～2024年3月31日の間に 当科において診察または運動指導を受けられた方及びご家族の方へ

「フレイルセンター利用患者におけるフレイルと身体特性・生活機能・体力の検討」へ のご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学 高齢者医療センター フレイルセンター	健康運動指導士	玉置 昭平
研究分担者	川崎医療福祉大学大学院 医療技術研究科 健康体育学専攻	修士2年	家近 和明
	川崎医科大学 高齢者医療センター フレイルセンター	健康運動指導士	濱田 大幹
	川崎医療福祉大学 医療技術学部 健康体育学科	准教授	脇本 敏裕
	川崎医科大学 総合老年医学	教授	杉本 研

1. 研究の概要

現在、我が国においては高齢者人口が30%近くとなっており、世界の中でも超高齢社会です。平均寿命が延伸し、元気な高齢者が増えているといわれているが、健康寿命は男性で約9年、女性で約13年平均寿命より短いです。これは、男性は死を前にして平均9年間要介護状態にあり、女性は13年間要介護状態にあるということです。また、75歳以上の後期高齢者における要介護の原因の1位は老衰（フレイル）です。したがって、健康寿命を延伸し、要介護状態である期間をいかに減らすかが世界の長寿国である日本において喫緊の課題であり、同じく高齢化が進む諸外国は日本がどのようにこの問題に対処するかを注視しています。高齢化に伴う諸問題の解決において老年学、老年医学の果たす役割は極めて大きいとされています。

フレイル発生、進行の原因を調査した前向き研究では、普段の生活で運動を実施していることがフレイル発生や進行のリスクを下げるということが報告されています(Tanimura et al., *Nurs Health Sci*, 2018)。さらにフレイルを進行させる慢性疾患の予防にも運動習慣は必須であることから(Booth et al., *Compr Physiol*, 2012)、運動を生活に取り入れ習慣化することは高齢者の健康維持にきわめて重要です。

川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンターでは、2023年9月の開院以来、体力測定および運動指導を実施しています。フレイルには、身体的フレイル、社会的フレイル、心理的・認知的フレイルが定義されており、ヒトに対して様々な環境因子が影響するとされています。そこで本研究は、川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンターの患者におけるフレイル指数と身体特性および身体活動量の関係を明らかにし、今後の運動介入の指標とするため統計解析を用いてデータを分析します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年9月1日～2024年3月31日の間に川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンターにおい

て、診察または運動指導を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において診察または運動指導を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに患者さんの身体的特性を明らかにするための分析を行いません。

4) 使用する情報の種類

フレイル指標、生年月、性別、年齢、身長、体重、BMI、体組成計の結果、5回立ち上がりテスト、握力、4m 快適歩行測定結果、下腿周囲径、立ち上がりテスト、2step テスト、開眼片足立ち時間、検体検査結果、生体検査結果、診断結果、問診情報、身体活動量

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、電子メールにて提供させていただきます。

川崎医療福祉大学 健康体育学科 脇本敏裕

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンター

氏名：玉置昭平

電話：086-225-2112 内線 41160（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：s-tamaki@mw.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

研究代表機関名 川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンター

研究代表責任者川崎医科大学高齢者医療センター フレイルセンター 健康運動指導士 玉置昭平

共同研究機関

川崎医療福祉大学 医療技術学部 健康体育学科 准教授 脇本 敏裕

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学および川崎医療福祉大学の利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。